

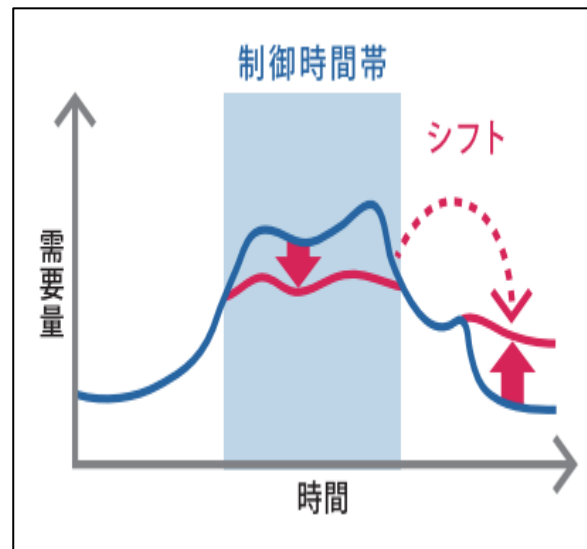
特定卸供給事業者として公共系エネルギーリソースに特化したアグリゲーションサービスを実施

上下水道等の節電ポテンシャルを集約し、電力需給ひっ迫時にネガワットを供出。
火力発電所の焚き増しを抑え、カーボンニュートラルの実現にも貢献します！

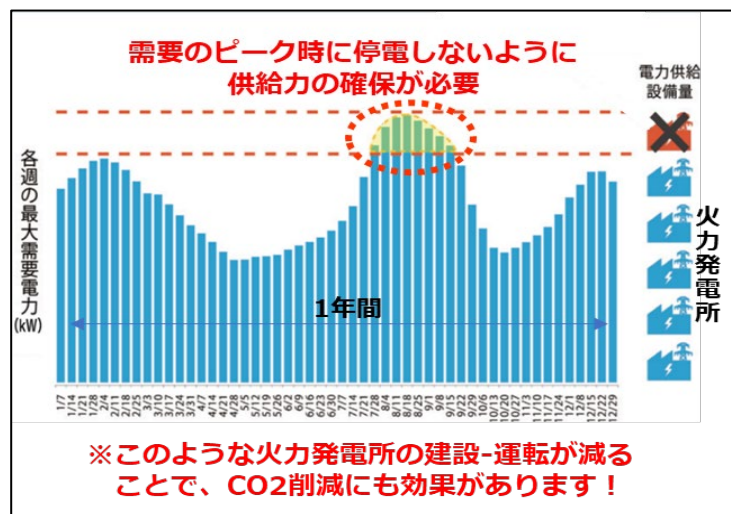
2023年（令和5年）6月
パシフィックパワー株式会社

パシフィックコンサルタンツ 100%出資子会社のパシフィックパワー株式会社は、2022年6月2日付で経済産業省に特定卸供給事業者の届出を行い、デマンドレスポンスおよび小規模発電リソースのアグリゲーションサービスを行っています。特に、全国多数の地方公共団体と連携しており、調整力公募(2020年度からサービス開始、2023年度は当社リソース規模2万kW程度)および容量市場(2024年度からサービス開始、当社リソース規模7万kW程度)等に参加しています。

いずれも当社およびパシフィックコンサルタンツ株式会社が、ネットワークを持つ公共系のエネルギーリソースが中心であり、上水道施設、下水道施設、廃棄物発電施設などが含まれています。特に、水道施設では浄水(取水・送水)ポンプの運転調整、下水道施設では汚水処理ポンプやブロワの運転調整を行うことで、電力需給ひっ迫時間帯から別の時間帯へのピークシフトを行い、電力需要抑制を行っています。需要抑制にあたっては、パシフィックコンサルタンツが培ってきた上下水道分野のノウハウを活かし、詳細なシミュレーションを行った上で最適な需要抑制量を試算・提案しています。



これらの取り組みは、電力需給ひっ迫の緩和に貢献するだけでなく、電力需要を平準化しピーク時に備えた発電設備の維持管理・投資費用を抑制することにつながります。また、現在は、火力発電所が電力ピーク時の需給バランス調整を担っていますが、この取り組みが普及拡大することで、火力発電所の焚き増しが抑制され、カーボンニュートラルにも貢献すると言われています。



▲上図2点は、「バーチャルパワープラント」(資源エネルギー庁)を加工して作成

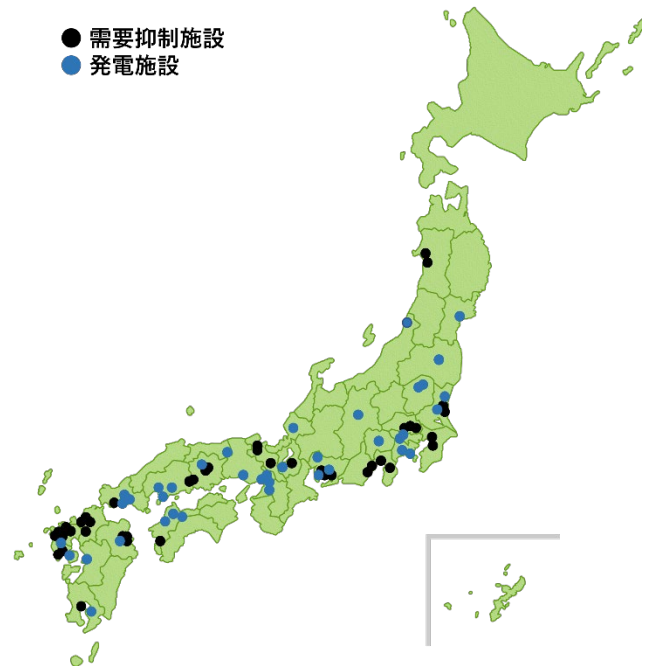
【当社アグリゲーションサービスにて、この取組みに参加する地方公共団体の施設数】

当社アグリゲーションサービスを通じて、100 を超える地方公共団体の施設がこの取組みに参加しております。

参加しております地方公共団体の施設では、水道用水の安定供給や下水処理、廃棄物処理など、事業の運用を最優先としつつ、効果的な対策を講じた上で、この取組みに参加されています。

設備投資のコストをかけることなく、施設内設備の稼働調整など運用面での工夫を行うことで、カーボンニュートラルの実現に貢献する取組みとなっています。

※1 施設ごとでは発電量が不安定な発電施設は、集約することで、供給力として容量市場に参加しています。



当社は、これらの取り組みを監視・制御するシステムとして、自社開発したシステム (Flex-Director) を保有しており、今後、対象リソースとして系統用蓄電池や FIP 電源のアグリゲーションについても対応していくほか、全国の自治体新電力向けにサービス提供していく予定です。公共系エネルギーリソースに特化した VPP アグリゲーターとして、地域エネルギー事業を通じたまちの活性化と発展に寄与してまいります。

【問い合わせ先】 パシフィックパワー株式会社

東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラスクエア

電話：03-5244-5423 メール：vpp-ppkk@pacific-power.co.jp

会社ウェブページ：<http://www.pacific-power.co.jp/index.html>